

読書ボランティア紹介

蓬萊子どもの本の会（蓬萊学習センター）

子ども読書推進のために

蓬萊子どもの本の会（福島市）

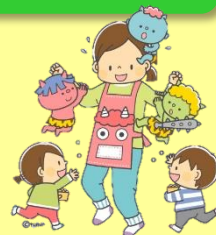
1月28日（木）訪問

登録人数 10名（H28.1現在）

創設年月 平成5年

活動場所 福島市蓬萊学習センター

活動内容 よみきかせ、すばなし、かみしばい、わらべうた、てあそび
ブックトーク、パネルシアター、ペープサート、エプロンシアター



平成5年に蓬萊学習センターが設置され、その設置にあわせて「蓬萊子どもの本の会」は創設されました。センターが設置される以前、蓬萊地区にはいくつかの文庫があり、そこで図書に携わっていた方々が当会を創設したため、会員は創設時から子ども読書に関する知識・技能を十分身につけていました。会本来の目的は読み聞かせボランティアではなく、子どもの本に関する勉強会が主であり、図書館司書をはじめとする講師を招いての学習会を自主的に行っています。読書が子どもに与える影響や選書などについて学び、その中で読み聞かせ等についても学び技能を高めてきました。以前は蓬萊小学校でも読み聞かせを行っていましたが、保護者の方々が中心となって活動するようになり新たな団体を創設したため、現在は蓬萊学習センターのみで活動しています。センターで毎月行われるおひざにだっこのおはなし会・おはなしのくれよんで毎回一人がお手伝いしますが、どの会員でも読み聞かせをはじめとする種々の活動ができるため、誰が担当してもテーマによって活動内容を変え、よりよいプログラムにすることができています。会としては今後、すばなしに力を入れていきたいと考えています。

活動の実際

訪問当日は「おひざにだっこのおはなしかい」が行われていました。プログラムは、1.てあそび、2.すばなし、3.パネルシアター、4.わらべうた、5.よみきかせ、6.わらべうたでした。今回は節分が近いということで、絵本『おにはそと』が選ばれていました。さらには段ボールで作った鬼、紙で作った大きめの豆も準備されており、『おにはそと』を聞いた後に豆まきゲームが行われました。プログラムにはすばなしがあり、5分程度の長い話でしたが、幼児は飽きること無くお膝にだっこされたまま静かに聞き入っていました。幼児向けのおはなし会だからと手作りの小物を準備されていましたが、ボランティアさんの話術が優れているからこそ、小さな子でも想像力をはたらかせ聞き入ることができたのだと思います。おはなし会終了後、男の子がとてもうれしそうに本の貸し出し手続きを行っていたのがとても印象的でした。

